

- 問1 平安時代、地方の政治が乱れる大きな原因の一つとなった制度の廃止を何という？
- 問2 中国で長く繁栄した王朝である唐が滅亡したのは何年？
- 問3 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
- 問4 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？
- 問5 遣唐使の停止以降、中国文化を日本の風土に合わせて日本独自に発展させた文化を何という？
- 問6 平安時代、紀貫之に最初の勅撰和歌集の編纂を命じた天皇は誰？
- 問7 平安時代初期まで、日本が中国（唐）へ文化や制度を学ぶために派遣した使節を何という？
- 問8 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？
- 問9 遣唐使の停止を建議した後、政争に巻き込まれて左遷された先はどこ？
- 問10 比叡山で修行を積み、後に鎌倉時代に新しい宗派を広めた指導者たちの総称を何という？
- 問11 平等院鳳凰堂などの建築に影響を与えた、阿弥陀仏にすぎる信仰を何という？
- 問12 桓武天皇から命を受け、蝦夷を服属させるために派遣された武將は誰？
- 問13 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？
- 問14 清少納言が仕え、『枕草子』執筆のきっかけとなった一条天皇の後は誰？
- 問15 1159年に平清盛と争い、平治の乱を起こした源氏の武士は誰？
- 問16 894年に菅原道真の提案によって中止され、日本独自の文化を発展させるきっかけとなった出来事を何という？
- 問17 平安時代に藤原氏が摂政とともに就任し、政治の実権を握った官職を何という？
- 問18 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？
- 問19 平安時代初期、地方政治の立て直しを図り、国司への監督を強化した天皇は誰？
- 問20 平安時代に国風文化が発展するきっかけとなった、中国へ使者を送る制度の終了を何という？
- 問21 平安時代に、地方に赴任せずに京に留まったまま役職だけを持つ国司のことを何という？
- 問22 紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最初の勅撰和歌集を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 遣唐使廃止	894年の遣唐使廃止によって日本は中国との公的な外交関係を絶ちました。これにより、中央政府の関心は外交から国内統治へと向かいましたが、地方へ派遣された国司たちが現地に赴かず、京に留まって私腹を肥やすといった政治の腐敗が目立つようになりました。
問2	答え 907年	907年、唐は朱全忠によって滅ぼされました。これにより中国は「五代十国」と呼ばれる分裂の時代へと突入しました。
問3	答え 東北地方	東北地方には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしてきました。朝廷は多賀城などの拠点を作り、軍事的に征討を試みましたが。
問4	答え 桓武天皇	桓武天皇はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。これにより、旧来の仏教勢力との結びつきを断ち切り、新たな環境で朝廷の威信を取り戻そうとしました。
問5	答え 国風文化	国風文化は、仮名の発明による物語文学（源氏物語など）の発展や、寝殿造のような日本独自の建築様式が特徴です。貴族の生活の中で、四季の移ろいや美しさを愛でる優雅な芸術が発展しました。
問6	答え 醍醐天皇	醍醐天皇は学問や芸術を尊重し、多くの文人を重用しました。905年、彼は紀貫之らに命じて、それまでの和歌を集めた日本初の勅撰和歌集『古今和歌集』を編纂させました。この事業は、日本の文学史において非常に重要な出来事です。
問7	答え 遣唐使	遣唐使は、天皇の命を受けて唐へ派遣された公式の外交使節団です。留学生や僧侶も同行し、帰国して新しい仏教（密教）や学問、技術を日本に持ち帰りました。しかし、894年に菅原道真の建議により停止されるまで、多くの人々が命がけて海を渡りました。これにより、日本は当時の東アジアの先端文化を吸収し、発展の礎を築くことができました。
問8	答え 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式にとらわれず、作者が思ったことや見たこと、季節の移り変わりなどを書き記す形式です。清少納言の『枕草子』はその代表格であり、彼女の鋭い視点やユーモア、時には批判的な意見なども書き込まれています。かな文字が使われたことで、日本語特有のリズムや情緒を豊かに表現できるようになりました。
問9	答え 大宰府	道真の急激な昇進に嫉妬した藤原氏などの貴族によって、道真は無実の罪を着せられ、九州の大宰府へ左遷されました。道真はそこで失意のうちに亡くなりましたが、その後、都では道真の怨霊の仕業とされる天災や異変が相次ぎました。
問10	答え 鎌倉新仏教	比叡山延暦寺は、当時最高の仏教教育機関でした。そこで学んだ法然、親鸞、道元、日蓮、栄西などは、厳しい修行や学問が困難な民衆や武士のために、より平易な教えを創設しました。これが鎌倉新仏教と呼ばれる一連の宗派です。「専修念仏」や「坐禅」など、個人の信仰のあり方を重視したのが特徴です。
問11	答え 浄土信仰	浄土信仰は、「南無阿彌陀仏」と唱えることで、死後に阿彌陀如来のいる極楽浄土へ生まれ変わることができるとする教えです。貴族たちの間で広まり、平等院鳳凰堂のような豪華な阿彌陀堂が建立されるきっかけとなりました。
問12	答え 坂上田村麻呂	坂上田村麻呂は、桓武天皇により「征夷大將軍」に任命され、大規模な軍を率いて東北へ向かいました。彼は蝦夷の指導者であった阿弭流為らを降伏させ、朝廷の支配圏を現在の岩手県あたりまで拡大させました。
問13	答え 藤原道長	藤原道長は、四人の娘を次々と天皇の后とすることで、揺るぎない地位を築きました。自身が摂政や関白になることもありましたが、それ以上に天皇の外戚という立場で朝廷を掌握しました。彼が詠んだ歌は、自身の権勢が満月のように欠けることがないとする自信に満ちたものです。
問14	答え 中宮定子	中宮定子は非常に教養深く、気品あふれる人物として知られていました。彼女に仕えた清少納言は、その優雅な振る舞いやサロンの様子を『枕草子』の中に書き残しました。定子は、平安貴族の優雅な生活を象徴する存在の一人です。
問15	答え 源義朝	1159年、義朝は藤原頼朝と結託して挙兵しましたが、最終的に平清盛に敗北しました。この敗北により源氏の勢力は一時的に衰退し、息子の源頼朝らは伊豆などへ流されました。
問16	答え 遣唐使の廃止	894年、朝廷で活躍した菅原道真の建議により、遣唐使の派遣は停止されました。この決定により、それまで唐から学んでいた制度や文化の影響が弱まり、日本独自の「国風文化」が発展する契機となりました。
問17	答え 関白	「摂政」は天皇が幼少の時に代わって政治を行い、「関白」は天皇が成人した後政治を補佐する役割を持つ役職です。藤原氏はこれらの役職を独占することで、天皇を陰から操り、朝廷での最高権力者として君臨しました。これが摂関政治の仕組みです。
問18	答え 紫式部	紫式部は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。当時の貴族の優雅な生活や、内面的な感情まで細やかに描き出したこの作品は、日本文学の最高峰とされています。
問19	答え 桓武天皇	桓武天皇は長岡京を経て平安京へ都を移し、国家の立て直しを行いました。地方行政の主役である国司を中央から厳しく監視し、不正を防ごうとしました。また、蝦夷の平定にも力を注ぎました。
問20	答え 遣唐使の廃止	遣唐使の廃止は、中国の文化に直接頼る時代から脱却する転換点となりました。これにより、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が重視されるようになりました。
問21	答え 遙任	遙任（ようにん）は、国司が自らは現地に行かず、代わりに代官である「目代（もくだい）」などを派遣して統治させる形態です。これにより国司は責任を回避しつつ収益だけを確保することができましたが、地方政治の腐敗を加速させる要因となりました。
問22	答え 古今和歌集	『古今和歌集』は、紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最も古い勅撰（天皇の命令による）和歌集です。当時の洗練された貴族の生活や自然への思いが反映されており、後の文学作品に多大な影響を与えました。仮名文字を用いて書かれたことが特徴です。